

もろやま

発行 / 毛呂山町議会
編集 / 毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

議会だより

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



ゆずの里商店街桜まつり（毛呂駅前）

3月の定例会

平成21年度一般会計予算	2～3P
平成21年度特別会計予算	4P
平成20年度補正予算	5P
条例の改正等	6P
委員会レポート	7P
いっぱん質問 10名	8～13P
議会の動き・全員協議会ほか	14P

平成21年4月20日発行

第 64 号

この用紙は再生紙を使用しており、議員の自主編集で発行しています。

一般会計予算

82億6,700万円 (前年比1.8%減)

平成21年度一般会計予算総額は歳入・歳出とも82億6700万円で、昨年の84億1730万円に比べマイナスイ・8%であり、額にして約1億5030万円の減額となりました。

予算は第四次総合振興計画および行財政集中改革プランを念頭に編成されています。アナログ放送が平成23年7月24日に終了することから、21年度から民間ケーブルテレビ会社が設立する新会社に300万円出資して基盤整備をスタートさせます。

平成21年度予算の主な内容

総務費

庁舎カウンター改修工事	450万円
町内循環バス運行事業(10月から予定)	1,898万円
町界町名地番整理(岩井東・平山)	1,800万円

民生費

山根荘空調設備等改修工事	3,106万円
こども医療費中学修了まで拡大	6,638万円

衛生費

妊婦健診の助成を5回から14回に増やす	2,382万円
---------------------	---------

労働費

雇用対策賃金	1,000万円
--------	---------

土木費

町道整備事業	1億7,466万円
--------	-----------

教育費

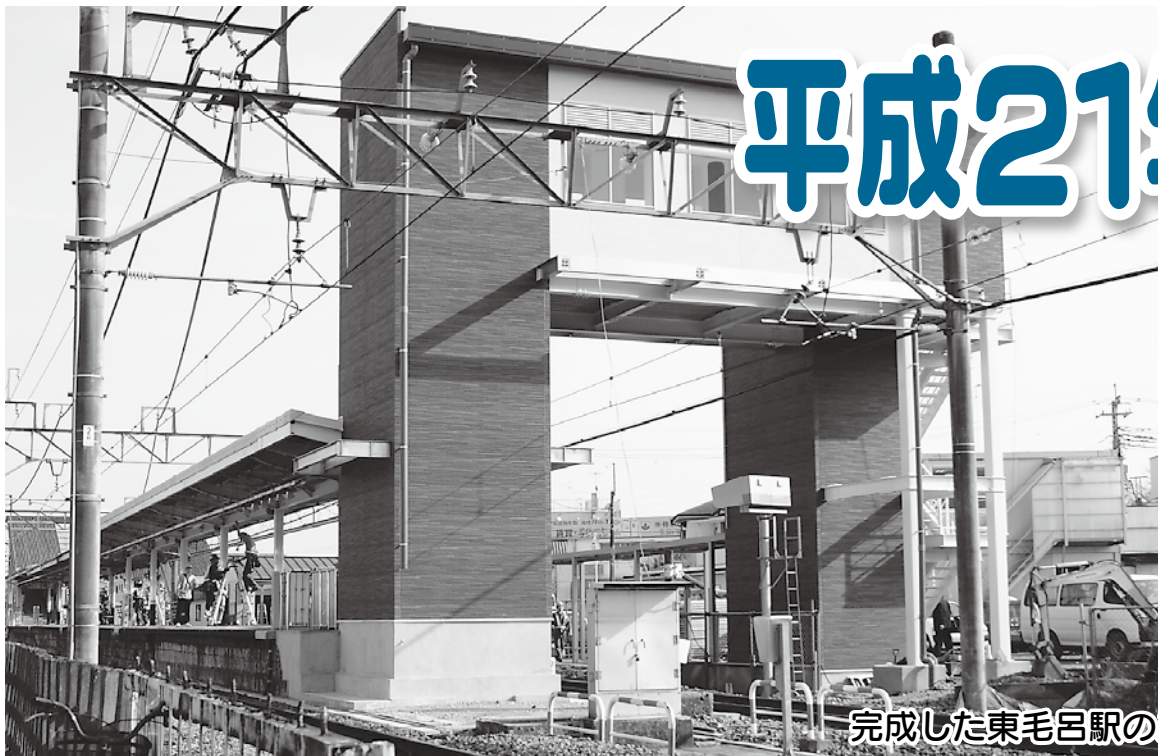
毛呂山小学校プール塗装修繕工事	500万円
泉野小学校外壁塗装修繕工事	1,000万円
中央公民館空調設備改修工事	3,165万円
体育施設等改修工事	936万円

3月議会定例会

一般会計予算、賛成多数可決 地上デジタル放送に向けて基盤整備をスタート

平成21年3月定例会は、2日から18日までの会期で開催されました。主な議題は、条例2件、条例の改正11件、補正予算6件、当初予算7件、町道の路線の廃止・認定各1件、人事の諮問1件、農業委員の推薦1件の審議をしました。なお議案審議に先立ち行なわれた一般質問は10名が登壇し、活発な質問が展開されました。

平成21年度



完成した東毛呂駅のエレベーター

一般会計質疑

問 個人・法人税が今の状況を考えるとあまり変わっていないように思うが。

答 21年度の課税対象は20年の1月から12月まで、影響が出てくるのは22年度で、この1年今の悲惨な状況が続けば22年度の税収は厳しい状況になると思う。

問 AEDが各地域に必要になってきていると思うが。

答 自主防災組織には購入費補助金として3万円の援助をしている。

問 教科指導支援員、どれだけの成果が出たか。

答 質の向上を図りながら人材確保を目指したい。

問 福祉会館の使用料の減額の理由。

答 宣伝販売がテレビショッピング等の普及により、会議室、展示室の利用者が減少。

問 町内巡回バスについて。
答 10人乗りのワゴン車2台を購入。ほぼ全町を運行予定。

一般会計討論

反対します

雇用情勢など社会情勢は一段と厳しい。21年度予算も不況を反映した内容である。高齢化率21・5%、0～5歳人口も急減と一挙に少子高齢化の兆しである。投資的経費減額の一方で、野久保線事業に相変わらず膨大な予算が投入され、更に過疎化の進む長瀬駅に5億円橋上駅舎建設関連予算が組まれた。利用者にとって階段の上り下り等の経路は現状と変わらず、メリツトはない。また、長瀬駅周辺への一極集中の予算配分は税の公平さを欠く。

未就学児の激減で公・民6認可保育園体制の役割はまもなく終える。保育需要の大幅減少を踏まえ、町の幼保事業を見直すべきだ。

長瀬 衛議員

小泉内閣のもと、構造改革路線が進められた。それは「小さな政府」と「規制緩和」の路線です。町は集中改革プランを作成して、職員の削減や指定管理者制度を導入した。問題なのは、町民の給与所得者の平均年収が10年連続で減少の時に、住民税の増税、介護保険料・医療費の値上げ、国保の値上げなどが続いた。これで町民の暮らしが大変になったと思われる。今、町民は深刻な不況で多くの方々が様々な問題を抱え苦しんでいる。こうした方々の生活を守ることに重点をおき、予算配分をするべき。そのためには長瀬駅の橋上駅舎の設計予算は町民の理解が得られるものではない。

藤岡健司議員

賛成討論なし

平成21年度 特別会計予算

国民健康保険

歳入歳出総額は

39億9189万円

前年度と比較して1億9376万円。5・1%の増額です。

■主な歳入

国民健康保険税

8億8443万円

国庫支出金

9億9161万円

療養給付費等交付金

3億4672万円

前期高齢者交付金

7億1383万円

■主な歳出

保険給付費

27億7442万円

後期高齢者支援金等

4億8733万円

介護納付金

1億8690万円

(賛成多数可決)

水道事業

住民の生活用水を継続的に供給し、公衆衛生の向上、生活環境の改善に寄与する。

水道事業収益は、8億119万円。水道事業費用は7億8075万円です。

給水施設改善・企業債償還に充当する資本的支出は

3億9280万円。

(賛成多数可決)

農業集落排水事業

歳入歳出予算総額は

2779万円

■主な歳入

一般会計繰入金

2098万円

使用料及び手数料

452万円

■主な歳出

事業費

1083万円

(全員賛成可決)

老人保健

後期高齢者医療制度移行に伴う精算によるもの

予算総額は1045万円。

■主な歳入

前年度繰越金

1000万円

■主な歳出

医療諸費

2億2987万円

予備費

520万円

(賛成多数可決)

後期高齢者医療

歳入歳出総額は

2億4855万円

■主な歳入

後期高齢者医療保険料

1億8441万円

一般会計繰入金

5574万円

■主な歳出

後期高齢者医療広域連合納付金

2億3250万円

(賛成多数可決)

介護保険

高齢者に対応するため予防を重視

歳入歳出総額は、15億2797万円。前年度と比較して1億750万円。7・6%の増加です。

797万円。前年度と比較して1億750万円。7・6%の増加です。

■主な歳入

第一号被保険者保険料

3億4075万円

国庫支出金

2億5457万円

支払基金交付金

4億3870万円

県支出金

2億1692万円

■主な歳出

保険給付費

14億5077万円

地域支援事業費

2907万円

総務費

4152万円

予備費

508万円

(賛成多数可決)

主な質疑

問 人間ドック利用実績は。

答 平成18年度116件、19年度112件、20年度

143件。20年度利用者増

の理由は特定検査と人間ド

ック両方の受診希望者が増

えたため。

問 介護認定について高齢

者の実情を軽視した機械的

な調査や判定が行なわれて

いると聞かすが、実情は。

答 認定調査員の研修実施

の際、人間味ある調査を行

なうよう指導。医療機関か

らの意見書、認定調査員の

調査票に基づき、機械的に

ならないよう審査委員の平準

化を図って審査判定を実施。

問 4月から介護認定判定

基準が変わり、14項目が削減

されていると聞かすが、毛呂

山町はどうか。

答 介護保険法に則り、介

護保健事業を推進。調査項

目と、それに沿った調査を

行なうことになっている。

平成20年度補正予算

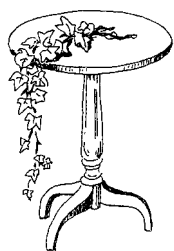
一般会計

一般会計補正予算（第6号）は、歳入歳出それぞれ1億2448万円を増額し、予算総額を87億390万円としました。この補正予算は、平成20年度終了間近により、予算整理も合わせて編成したものです。

■主な歳入
 国庫支出金 4802万円
 地方特別交付金 3425万円

■主な歳出
 地方交付税 356万円
 総務費 5億8632万円
 民生費 1979万円
 諸支出金 6500万円
 商工費 150万円
 予備費 △958万円
 （全員賛成可決）

一般会計補正予算（第7号）は、歳入歳出それぞれ



6億6303万円を増額し、予算総額を6号と合わせて93億6693万円としました。この補正予算は、国の第2次補正予算により交付される地域活性化・生活対策臨時交付金の追加、定額給付金及び子育て応援特別手当の支給に要する経費等です。

■主な歳入
 国庫支出金 6億6303万円

■主な歳出
 総務費（定額給付金） 5億8633万円
 民生費（子育て応援特別手当） 1979万円
 商工費（定額給付金地域活性化補助金） 150万円
 （全員賛成可決）

国民健康保険

国民健康保険特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億7522万円を増額し、予算総額を41億8709万円としました。

■主な歳入
 国庫支出金 2671万円
 共同事業交付金 1億2651万円

療養給付費等交付金 2999万円
 県支出金 141万円
 繰入金 △1188万円
 諸収入 248万円

■主な歳出
 保険給付費 △1841万円
 基金積立金 8000万円
 保健事業費 △168万円
 総務費 △307万円
 （全員賛成可決）

水道事業

12月補正により、収益的事業収入額は8億1035万円。事業支出額は7億8

935万円。損益勘定は1047万円となります。

資本的事業収入額は3145万円。事業支出額は3億8292万円。不足額の3億5148万円は過年度分損益勘定留保資金等で補てんします。

後期高齢者医療

後期高齢者医療特別会計補正予算は歳入歳出それぞれ617万円を減額し、予算総額を2億3249万円としました。

■主な歳入
 国庫支出金 525万円
 後期高齢者医療保険料 △809万円
■主な歳出
 総務費 367万円
 後期高齢者医療広域連合納付金 △984万円
 （全員賛成可決）

介護保険

介護保険特別会計補正予

算は歳入歳出それぞれ7136万円を減額し、予算総額を13億9226万円としました。

■主な歳入
 保険料 976万円
 国庫支出金 △1865万円

主な質疑

- 問** 定額給付金事務手続きの町持ち出し分はあるのか。
- 答** 全額国の補助金が出る。町の持ち出し分はありません。
- 問** 保養所利用者補助金135万円減額の理由は。
- 答** 今まで1泊3000円の補助金が出ていたが、18年度からは1泊2000円の補助金とした。利用者も減少したため減額しました。

国民健康保険税の 賦課方式を変更

条例の改正等

医療制度改正に伴う 条例

◎毛呂山町国民健康保険税 条例の一部を改正する条

例

課税の透明性を図り、納税者の理解を進めるため、国民健康保険税の基礎課税額の賦課方式を、現行の4方式から2方式に変更するものです。

主な改正内容は、資産割と平等割を廃止し、所得割と均等割の2方式の課税に変更するもので、これに伴い税率の改正を行いません。また、税率の改正により、

軽減割合が変更となるため、基礎課税額に加えて後期高齢者支援金等課税額、並びに介護納付金課税額の均等割に対する軽減額の改正も併せて行なわれたものです。

◎毛呂山町子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

子育て支援の更なる充実を図るため、子ども医療費の支給対象を中学生までに拡大するものです。満15歳に達した日の属する年度の末日までです。

◎毛呂山町介護保険条例の一部を改正する条例

本年4月から第4期介護保険事業計画が施行されることに伴いまして、賦課年度及び介護保険料率の変更を定めるため、介護保険条例の一部を改正する必要がありますので改正するもの

です。

（賛成多数可決）

デイサービスセンター の利用時間延長

◎毛呂山町デイサービスセンター条例の一部を改正する条例

介護保険法の改正に予防給付創設に伴うサービスの名称の変更と、毛呂山町デイサービスセンターの利用時間を午後4時までとするためです。

（全員賛成可決）

その他の条例改正

◎毛呂山町認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例

（全員賛成可決）

◎職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

（全員賛成可決）

◎毛呂山町廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部

を改正する条例

を改正する条例

（賛成多数可決）

◎毛呂山町墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例

（全員賛成可決）

◎毛呂山町手数料条例の一部を改正する条例

毛呂山町手数料条例第4条第1号の免除規定の明文化と印鑑登録証再交付手数料の徴収規定を新たに設けるとともに、住民基本台帳カードの普及と行政手続きのオンライン化を推進するため、住基カードの無料交付を実施するにあたり、毛呂山町手数料条例の一部を改正したものです。

（全員賛成可決）

◎毛呂山町立図書館条例

継続審査となっていた毛呂山町立図書館の管理について、地方自治法の規定に基づく指定管理者制度の導入を図るためです。

（賛成多数可決）

町道の廃止

滝ノ入地内6件が廃止となりました。

- ・町道第6223号路線
- ・町道第6225号路線
- ・町道第6226号路線
- ・町道第6228号路線
- ・町道第6236号路線
- ・町道第6242号路線

（全員賛成可決）

町道の認定

岩井地内2件をはじめ滝ノ入地内7件の町道が新たに認定されました。

- ◇岩井地内
- ・町道第2215号路線
- ・町道第2216号路線
- ◇滝ノ入地内
- ・町道第6288号路線
- ・町道第6289号路線
- ・町道第6290号路線
- ・町道第6291号路線
- ・町道第6292号路線
- ・町道第6293号路線
- ・町道第6294号路線

（全員賛成可決）

委員会レポート

委員会に付託となった21年度一般会計予算、特別会計予算、条例などの審議を行ないました。

生活福祉常任委員会

平成21年度一般会計予算のうち、歳出の部で民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、災害復旧費。特別会計のうち国民健康保険、水道事業、老人保険、農業集落排水事業、介護保険、後期高齢者医療。毛呂山町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例、町道の廃止・認定を審査しました。審査の結果、一般会計は反対討論もなく全員賛成にて可決されました。



町道路線現地視察

■主な質疑

問 妊婦検診の助成について質疑があり。

答 妊婦検診の助成は本年度5回、理想は14回程度が望まれているので来年度は14回の方向で進める。

来年度の9回増分についても受診券という形で交付する。それに係る本人負担はない。

問 自由通路はいつ完成なのか。自由通路は一時ストップさせて橋上駅舎の設計に入るのか。

答 自由通路は平成17年に基本設計をし、今年度1,500万円の補助がついている。内500万円ほど地質調査と測量の委託をし、残りの設計部分、自由通路詳細設計の分1,038万円を繰り越させていただいた。それで自由通路の詳細設計を21年度行なう。橋上駅舎については1,900万円、これは基本設計と詳細設計で計上した。

自由通路の詳細設計と橋上駅舎の基本設計が終わった後の詳細設計は併せて設計するスケジュール、工事については22年度から24年度までの計画で工事をさせていただきたい。

総務文教常任委員会

平成21年度一般会計予算のうち、歳入全般、歳出の部で議会費、総務費、消防費、教育費、公債費、諸支出金、予備費。継続審査となっておりました毛呂山町立図書館条例を審査しました。

審査の結果、一般会計は反対討論があり賛成多数で可決されました。

■主な質疑

問 入間ケーブルテレビとテプコケーブルとの関係は。出資金300万円だが、町の対応はこの時期がベストなのか。

答 東京電力は補償を行なってきた地域から撤退を図るため、入間ケーブルテレビに管理移譲を行なったものと考えられる。

出資金の時期については、地上デジタル放送への移行を2年半後に控えて、自己対応および住民がそれぞれの対応に進んでしまわないうちの対処と考えている。

問 教科指導支援員の配置は本町の特徴であり、どれだけの成果が出ているか。また、現時点での本町の学校教育の課題は何か。

答 平成13年より教科指導支援員が配置されたが、質の向上を図りながら人材確保を目指したい。

今年度から学校教育指導員を配置し定期的に研修を積み重ねてきた。

小中の教員の交流、児童と生徒の交流を図って、中学生生活の不適用をなんとかなくしていくことが本町の大きな課題だと思う。



泉野小学校現地視察

いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員と質問事項

- 藤岡健司議員 ① 小泉内閣による構造改革路線が町に及ぼした影響
② 教育
③ 住宅用火災警報器
④ グラウンドの砂埃
- 菅野博子議員 ① 教育行政
② 「地域活性化生活対策臨時交付金」
③ 出産後ヘルパー派遣
- 井上健次議員 ① 農地の利用に新しい展開
② 町防災施策
③ 教育施策
- 岡野 勉議員 ① 雇用対策
② 介護保険制度の充実
③ 受益者負担
④ 裁判員制度
- 川上伸子議員 ① 定額給付金
② 高齢者運転免許証自主返還
③ 駅のバリアフリー
- 小峰明雄議員 ① 広聴活動
② 教育・子育て環境の充実
③ 高齢者等の生活支援事業
- 岡部和雄議員 ① マニフェスト検証
② 毛呂山町の経済状況は
③ 教育長に問う
- 下田一甫議員 ① 総合公園プール
② 道路改良
- 長瀬 衛議員 ① 21年度の町政運営の基本方針及び少子高齢化の進展が与える今後の町づくりへの影響
- 高橋達夫議員 ① 近隣首長の交代による毛呂山町への影響は
② リプラ対策協議会と町との協定
③ 町が関わる第3セクター現況と地デジ化へ向けての第3セクター設立
④ 毛呂山町の教育

※内容については、各人の原稿をもとに質問順で掲載しました。質問順は抽選により決定されます。

岩井グラウンドの砂ぼこりについて

近隣の方々に迷惑をかける場合もある

藤岡 健司 議員

問 ゆずの木台に住んでいる人から、岩井グラウンドの砂ぼこりが、春先にかけて北風の強い日は家の中に入ってきて困っていると聞いた。何らかの対策はないか。

答 塩化カルシウム等の安定剤を散布し、土中の含水比率を保

持することにより、発生を緩和させることができると思われる。今後は砂ぼこりの状態を見ながら塩化カルシウムの散布を試していきたい。

小泉路線が町に及ぼした影響

*小泉内閣のもと、構造改革路線が進められました。それは「小

さな政府」と「規制緩和」の路線でありました。町では、国からの指示で集中改革プランを作成して職員の削減や指定管理者制度を導入しました。また、非正規雇用などで町民の給与所得者の平均年収が10年連続で減少しています。

問 職員が定年を待たずに退職している現状をどうとらえているか。

答 定年前に退職していく理由は、健康面や個人的な事情等は、様々な理由があるが、退職者本人が将来の生活設計等自分自身で判断し決断している。

問 学童保育所建設工事が不調に終わったことに見られるように、単価の引き下げによる品質の確保や品質の低下はなかったか。

答 指摘の品質の確保や品質の低下は、本件の入札が不調に終わったため、検収をしていない。

今後は入札準備をしっかりと行ない、無事契約の暁には、工事の施工監理委託契約を実施し、品質の確保や低下をまねくことのないよう細心の注意を払い事務を執行していきたい。



砂ぼこり対策が望まれる岩井グラウンド



教育委員会発行の「もろやまの教育」

新教育長の 抱負・ビジョンは

生きる力をはぐくむ教育を推進

菅野 博子 議員

問 新教育長の抱負・ビジョンは。

答 学校施設については校舎の耐震化を優先したい。教育内容については確かな学力の向上は、本町の学校教育の主要な目標。授業に集中できる規

律ある学習態度を養うことや、心の教育も大切であると考え、生徒指導や不登校対策も大きな課題であると認識。教職員の資質向上はもとより、二期期の充実や教科指導支援員等を通じて、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を充実させ

ることが基礎学力日本一への歩むべき道筋であると考えている。各学校のニーズを踏まえつつ学校応援団づくりを推進し、開かれた学校づくりを進めることにより、地域と共に歩む学校を目指してまいりたい。

問 学校施設、老朽化とはいえずあまりにも汚い。早急に手当を。

答 経年劣化により施設、設備が大変傷んでいます。耐震補強工事を優先的に実施、工事完了後に計画的に取り組みたい。

問 新年度予算の教育費の特色は。

活動を週1時間導入のため、ALTを一人増員。国が進める放課後子ども教室事業を実施。希望者に出産後のヘルパー派遣、町の考えは

問 社会、生活形態の変化で、核家族の生活が増えている。出産後の不安解消と安定した生活をするために手助けを希望する人が増えているが。

答 母子手帳の交付時、母子保健サービスの案内を実施。又、新生児・産婦訪問と育児相談を実施。有償サービスの「住民参加型在宅福祉サービスグループ友愛毛呂山」を紹介。

子ども達の安全施策

学校施設の耐震補強を最優先

井上 健次 議員

問 平成21年度子ども達の安全施策について、ハード面ソフト面の取組みは何か。

答 安全・安心な学校づくりの観点から、学校施設の耐震補強を最優先として取り組みます。通学路の安全施策については、危険箇所を把握し、道路整備や

防犯灯の設置を関係機関に要望してまいります。地域の皆様のご協力によって安全が保たれていると考えます。

問 平成18年12月議会の議員一般質問において、泉野小学校正門前町道カーブの危険性を指摘させて頂きましたが、平成20年

度泉野小学校区学童保育所建設計画に係り、町道を含めた正門周辺における改良工事は子ども達の安全を守る上でも大いに評価できるものである。反面、近年改良された同じく泉野小学校南側の町道に施された路側帯の縁石は、登下校時の子ども達が乗ることや最近の自動車事故の事例からみてもガードレール等の車道と歩道をしっかり分ける施策が必要である。また、本町の4校の小学校付近には、スクールゾーンとして朝7時半から8時半までの間、自動車通行規制がなされているが、子ども達

の登下校時安全施策としては、ドライバーへの働きかけなど不十分である。特に目白台地区開発に伴う入居世帯増加によって泉野小学校へ通う子ども達は大変多くなっている現状から、正門より手前の門扉やフェンスの改良によって、できるだけ校内を歩かせることで子ども達の安全が守られると思うが見解はどうか。

答 正門からの登下校が教育上の配慮としての考え方もあるが、今後校長と協議をさせていただきます。



スクールゾーンの規制時間でも自動車が！



埼玉「派遣村」に切実な相談が多数寄せられた【3月21～22日】

雇用対策の充実を！

1000万円を緊急雇用対策に充てる

岡野 勉 議員

問 今年の3月～4月で非正規労働者の失業者は全国で15万7806人に達するという。何より重要なのが「企業努力で解雇者を出さないこと」と思うが、本町で派遣労働者の「派遣切りや雇い止

答 残念ながら1社、数名の派遣労働者を打ち切った。対策は国の「緊急雇用創出基金事業」など活用。町では「緊急雇用対策事業」として1000万円を臨時職員の募集に充てて行く。臨時職員の時給単価の引き上

げ、及び「格差是正をはかれ！」
問 他自治体でも雇用の緊急対策が始まっているが空回りしている。応募に条件を付けたたり、雇用期間が短い・時給が安い！などが理由とみられる。そこで、緊急雇用の時給単価は。なお、雇用相談は「ハローワークで」と従来の対応ではなく、就職・生活相談に町でも丁寧な対応が求められると思うが。
答 時給は800円。ハローワークなどと連携して行く。
問 ここで矛盾を感じる。現在雇用している臨時職員の時給が、730円、780円、800円

と低く、何の根拠もなく微妙に格差をつけている。何度も指摘するが、早期に是正をはかれ！
答 長年の経緯がある。
問 県内上位の生活保護者数、受益者負担の強化は「逆だ！」
答 本町の生活保護者数は現在483人、越生82人、鳩山27人と人口比でも群を抜いている。この中で、年金以外収入のない高齢者に対し、スポーツ施設の有料化・後期高齢者医療など、負担が年金生活者・生活弱者に重くのしかかっている。
答 高齢者の皆さんにも応分の負担をお願いしている。

定額給付金の交付日は

4月中旬以降を予定

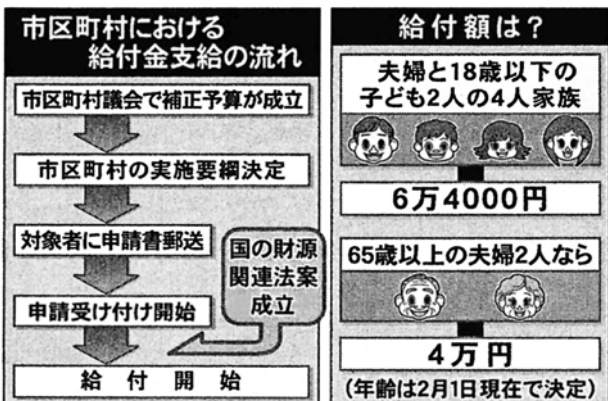
川上 伸子 議員

問 定額給付金、町の取組みは。
答 正確かつ迅速給付にむけ関係機関との打合せを実施。
問 町の給付金額と給付対象者。
答 給付金額は一人につき1万2千円、65歳以上と18歳以下の方には一人につき2万円。町の総額は概ね5億5千6百万円。

問 給付手続き。
答 役場から来た申請書に記入し、公的身分証明書の写し等を添付し、町に提出。町は本人確認後、給付金額の交付決定をし、申請者指定の金融機関口座へ振り込みます。
問 地域活性化の取組みは。

答 商工会は参加全店統一5%引き還元セールを検討。さらに町内共通商品券が当たるダブルチャンスも実施すると聞く。行政は町全体の経済を活性化したい考えからポスターや案内チラシ、広告費等の補助金を検討。セール期間は一カ月程度を予定。
問 「高齢者運転免許証自主返納」
答 高齢者が「運転免許証」を返上した場合、町の対策は。
答 運転免許試験所、免許更新センターとなっている各警察署へ自主返納すると「運転経歴証明書」が取得。証明書を提示すればシルバー・サポート制度に

協賛しているタクシー会社、ロゴマークのある店舗施設で割引等の特典が受けられる。毛呂山町内に協賛店舗はないが西入間管内での利用は可能。しかし、この証明書は身分証明書として認められないため、町は自主返納した方だけに限定せず、身分証明書にもなる住民基本台帳カードを希望者全員に無料交付を検討。
問 3駅のエレベーターその後の進捗状況は。
答 各駅順調に進んでいる。3月20日工事終了予定。



家計に“暖かな日差し”を



元気で楽しく学校に通ってほしいと願っています

毛呂山小・泉野小の 学区編成見直しの効果は

4行政区で一定の効果がみられた

小峰 明雄 議員

問 町長への手紙・メール等による広聴活動は。
答 住民からの貴重なご意見・ご提言に誠意をもつて対応し充実に努める。
問 教育・子育てに関する町長のマニフェストの進捗状況と今後のご見解。

答 教科指導支援員の充実。2学期制による確かな学力向上と全国学力標準検査を実施し学力向上の取り組みを推進。幼稚園同時就園児の第2子に助成金を交付。21年度より子ども医療費の無料化を中学生まで拡大。
問 学校施設の耐震補強工事の

ご所見と今後の入札等のご見解は。
答 高い技術力と安全性が強く求められ、施行実績や工事成績等の技術力等を含め入札を実施。
問 児童・生徒と向き合う時間の確保のため、学校現場の教職員の負担軽減に向けた取組みは。
答 全教職員に1台ずつパソコン配置、2学期制の導入により事務量の軽減が図られた。
問 通学路の安全対策は。
答 通学路安全点検の結果を基に、対策工事を実施。防犯ゆずの方々との連携による下校時のパトロールを実施。交通指導員を20年度に4名増員し20名体制

で指導を実施。2箇所の踏切拡幅は、条件や課題があり検討。
問 読解力の向上・言語活動の充実への取組み、課題等は。
答 漢字テストや全校音読発表会、国語辞書の活用等を実施。
問 高齢者等への生活支援事業の現状と課題等は。
答 現在65歳以上の人口が7971人で超高齢社会に突入しており、緊急通報システム事業・給食サービス事業・家族介護用品等給付事業等を実施、今後も継続強化し、民生委員の協力や地域包括支援センターを活用して事業を推進。

100年に一度の大不況、 対策は

定額給付金と臨時職員を採用

岡部 和雄 議員

問 マニフェストの検証。

答 19の個別施策のうち17施策は着手、成果が出ているのは70%であると自己検証している。今後は、武州長瀬駅の橋上駅舎の建設と新保育園建設をする。
要望 毛呂山町はこれだ！というシンボルをつくるべきだ。

問 町の経済状況と対策は

答 4月下旬には定額給付金を支給する予定です。緊急雇用対策として1千万円を計上し数ヶ月の臨時職員を求め。町内事業所で数名の派遣社員を打ち切る情報がある。ハローワークの求人情報では、毛呂山町で10名

程度の求人がある。

問 雇用促進住宅の現状と今後

答 平成13年特殊法人等整理合理化計画により早期廃止する。県内では促進住宅が7ヶ所ある。町の住宅の入居率は67%です。平成22年11月が最終退去でその後は更地にして公売の予定。
問 今年度の役場の新採用は。

答 一般行政職10名を採用する。

要望 年齢制限を廃止し民間会社の経験を生かす人材や専門職の人材を大いに採用するべきだ。

問 新教育長に問う

答 21年度で毛呂山町はやる気のある教職員を採用できたか。

答 小中学校共に教職員の人事交流は積極的に行ない、6校のニーズに応じた人材の配置に努める。新採用教員は、当町の学校教育の充実に意欲を持った人材が確保できたと考える。

問 毛呂山町の今後の教育。

答 教職員の資質の向上、新学習指導要領や教育振興基本計画を踏まえた生きる力を育む教育の推進、学力向上対策の実施、生徒指導の充実や不登校対策の推進。地域との連携による学校応援団づくりの推進。



更地にして公売予定の雇用促進住宅



川角グラウンドに接する法のある町道

総合公園プール施設

改めて検討しよう

下田 一甫 議員

問 総合公園プールは昭和58年オープン、一昨年閉鎖された。この事業は公園事業で国の補助金を受け建造された施設であり「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」第22条の財産の処

分の制限が適用されプールについては30年、附属する管理棟などは50年処分の制限が掛っているのでプールについては未だ2〜3年、管理棟などは23〜24年は利用しないままで手がつけられない。坂戸市、越生町内のプールは当町より数年前オープン

したのに健全に稼働され夏場賑わっている。町執行部の施設の適正な管理努力を怠った結果、法無視の廃止という結果ではないか。復活は問題もあると思うが夏場町民の憩いの場として再度利用できるような最善の努力をすべきと考えるがどうか。

答 各省庁の承認を受けず補助金の目的に反して使用してはならないことが規定されている。処分制限期間が満了していないという問題が生じると認識していたが、いま国においてこの制限について動きがあるのでその詳細な運用基準等確認する必要

があるが住民の貴重な行政財産であり町民の意見を伺うと共に財産処分新基準を理解しながら最善の策を検討していく。

問 川小前から西坂戸団地に至る町道第7号線の特に川角グラウンドに接する所は法面があり危険、早期改良を望む。さらに日本ホーバスに接するカーブ付近が道路幅も狭く危険、早期改良を。
答 町道7号路線は一級町道であり生活幹線道路としての位置付け、来年度川角石油協から川角中グラウンド脇迄の間測量調査設計をする。

将来像と不一致、 「長瀬駅5億円橋上駅舎」建設計画！

駅への投資で人口減へ歯止め

長瀬 衛 議員

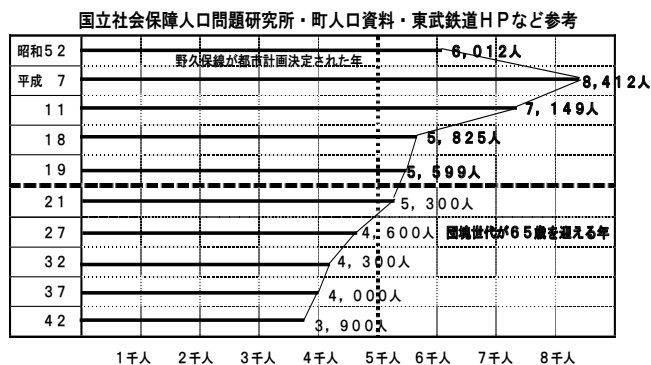
問 人口減少の一方で、少子高齢化が一段と深刻さを増す現実を直視すべきである。既に高齢化率は21・5%、地域の様子も急速に変化しているが、さらに20年度を境に少子高齢化が進み、6年後の0〜14歳人口は一つの学校分相当の減少見込み

だ。認識は共有しているのか？
答 ワンマン化の長瀬駅に5億円橋上駅建設に説得力はない。利用者数が東毛呂駅とほぼ同数まで減少し、団塊世代が完全に引退する6年後はさらに過疎化する。自由通路と合わせ8億円は東公民館と学童施設3つ分に相

当し、過去20年間の投資額は長瀬駅周辺に44億円、川角駅1・6億円、東毛呂駅0・6億円と不均衡である。
答 少子化は深刻な問題である。長瀬駅に集中しているが、終了したら他の駅をやる。図書館や公民館に比べ橋上駅は大勢利用でき、作ることによって人口減に歯止めになる事業である。
超少子化、6年後の0〜5歳人口、4割減？
問 新保育園建設は疑問である。人口推計などから、この先町の保育・幼児教育の環境が劇的に変化する。6年後の0〜5歳人口は

認可保育園の2園分に相当する。今後は民間が公立かの選択を迫られる。上町保育園の老朽化、園庭の日陰・凍結等が建設理由となっているが、他も同じ。21年度作成する次世代育成支援対策計画の結果を待つべきだ。箱物ありきのアンケート調査も疑問。現在、0〜5歳人口は1592人で待機児もいない。6年後の推計は。
答 検討委員会には平成16〜19年の資料を見せた。6年後の0〜5歳人口は929人と減ってくる。

長瀬駅における乗降客数の推移と予測【人/日】



利用者の減りにつける長瀬駅に不均衡な財政投資



すでに地デジ放送に対応しているアパート

地デジ化に向けて3セク設立 に対する町民への説明は

町民2000名を無作為に選びアンケートを行なった

高橋 達夫 議員

問 地デジ化に向け、入間ケーブルテレビとの第3セクター設立について町民にはどのような説明を行なったか。

答 町民2000名を無作為に抽出し、アンケートを行なった。アンケート

の協力と趣旨説明を広報に掲載した。

問 総務省の地域情報通信基盤整備交付金の交付マニュアルによれば、まずケーブルテレビへの需要調査をしなければならぬとなっている。町が行なった先日のアンケート調査は、町民

の需要調査を行なっていないがそれでよいのか。

答 町が行なったアンケート調査は総務省のモデルを参考にしている。

問 この交付金は申請すれば必ず来るのか。それは町に交付されるのか、第3セクターか。

答 昨年の場合、申請に対し50%の確立で交付された。交付金は町を経由して第3セクター会社に行く。

問 その第3セクターのケーブルテレビを利用するには加入金52500円、工事費36750円、利用料は再送信8チャン

ネルで月1200円と聞かすがそれは決まっているのか。

答 町としては県内で先行している市町と変らない利用体系でのサービス展開をお願いしたい。多くの利用者に受け入れられるよう企業努力に期待している。

問 アナログ放送が中止される平成23年7月24日には、町内の一部しかそれを利用できないのではないか。

答 優先順位を決めて進めていくが、期限までには幹線については町内全域を網羅するよう努力をすると聞いている。将来への布石であるので理解願いたい。

臨時議会開催

(2月5日)

平成20年度一般会計補正予算(第5号)

平成20年度一般会計補正

現総合対策交付金

予算を、歳入歳出それぞれ543万6千円を追加し、予算総額を85億7942万3千円とするものです。

歳出

543万6千円

泉野小学校区学童保育所建設工事 199万5千円

◆主な内容

歳入

地域活性化・緊急安心実

9万8千円計上されていたが入札不調により199万

5千円を追加、4729万3千円の予算を進める。なお、予算は繰越明許費とし、工事は21年度の9月末完成を目指したいとしている。

注釈

繰越明許費の繰越は、歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由により当該年度内に支出を終らない見込みがあるものについて、予算の定めるところにより翌年度に限り繰越して使用することができるもの。

全員協議会

◎2月4日の議題

○泉野小学校区学童保育所建設工事補正予算について

●入札不調による工事の見直しと予算の追加

○地域情報通信基盤整備推進交付金の申請について

●町が出資を予定している会社(仮ゆずの里ケーブル

テレビ)が町全体を計画区域としたケーブルテレビ事業を起す場合、総務省が所管する補助金の利用が可能。補助金は基準額の4分の1とされ、これを利用して平成23年7月24日に完全移行となる地上デジタル放送や高度情報化社会への対応を、町全体を対象として進めようとしている。

(次ページに続く)

人事

固定資産評価審査委員会委員の選任
宮崎博之氏
(再任)

昭和16年5月生
毛呂山町葛貫
農業委員会委員(議会推薦)
高橋達夫議員

表彰

毛呂山町議会表彰
(在任25年)
堀江快治議員

議会の動き

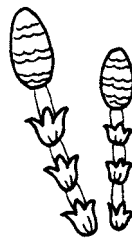
- 1月20日 第63号議会だより発行
- 28日 広域静苑組合議会定例会
- 30日 埼玉西部環境保全組合議会定例会
- 2月 4日 全員協議会
- 5日 議会運営委員会
第1回議会臨時会
- 9日 西入間広域消防組合議会定例会
- 12日 入間郡町村議会議長会(三芳町)
- 16日 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合議会定例会
- 18日 坂戸地区衛生組合議会定例会
- 20日 全員協議会
- 23日 議会運営委員会
- 27日 埼玉県町村議会議長会定期総会及び自治功労者表彰式(埼玉県自治会館)
- 3月 2日
第1回(3月)定例会
- 18日
2日 全員協議会
- 6日 議会運営委員会
- 18日 議会運営委員会

次回定例会は6月2日(火)開会予定です。

3月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
3月 2日(月)	0
3日(火)	3
4日(水)	18
5日(木)	32
6日(金)	0
9日(月)	2
10日(火)	0
18日(水)	0

傍聴席



花笑い小鳥歌う桜の春もいつしか、つじが目にしみる季節となりました。

予算議会ともいわれる3月定例議会は、2日に開会され18日に閉会しました。

国会で話題となりました定額給付金は13日に審議され、18歳以下と65歳以上の方に一人2万円、19歳以上64歳以下の方に一人1万2千円ずつ給付されます。4月下旬には給付予定ということでした。

“商工会活性化のため買い物は町内で”

宮寺征二

編集委員

委員長 岡野 勉
副委員長 下田 一甫
委員 宮寺 征二
藤岡 健司

川上 伸子
菅野 博子

アドバイザー
(議長) 伊藤 和由